

the Microsoft Conference 2008

2008/05/20 名古屋

Windows Server 2008 概要 (ST-1A)

5年ぶりのメジャーバージョンアップであり、前バージョンとは、明確に異なる点も多い。次のメジャーバージョンアップにも5年程度はかかると思われる。

調査によれば、IT投資のうち、20%が新規開発にあてられ、残りの80%は運用・保守に当てられている。Windows Server 2008 導入によるコスト削減効果により、この割合を逆転させたい。

そのために以下の3つの柱と5つの利点を提供する。

3つの柱

1. 柔軟性
2. セキュリティとコンプライアンス
3. 次世代サービス基盤

5つの利点

1. Hyper-V
2. ターミナルサービス
3. NAP
4. IIS7.0
5. WAN 回線経由の通信、ファイル共有パフォーマンス向上

柔軟性

柔軟性を仮想化により提供する。Hypervisor 型の仮想化ソリューション Hyper-V、従来のデスクトップすべての、ターミナルサービスから、アプリケーションウィンドウのみをサービスする RemoteApp を標準で提供。

セキュリティとコンプライアンス

NAP(Network Access Protection) 従来であれば、4 ~ 500 万円コストがかかるわりに効果が薄い、設定が複雑で導入がすすんでいなかった、検疫の機能を標準で提供。

次世代サービス基盤

RIA(Rich Interactive Application) Silverlight などを簡単に提供できる

上記3つの柱を実現するソリューションとして、以下があげられる。

管理性

- ・ Windows PowerShell
 - ・ ウィザードのみでは物足りないという声を受けて、C シェルや、bash 相当の機能を提供
 - ・ すべての機能にアクセス可能

堅牢性

- ・ 次世代プロトコルスタック (IPv6) に完全対応
 - ・ 2003Server までは、Win95 の実装を改良してきたが、Vista、2008Server では、スクラッチから再実装を行った
 - ・ そのため、以前の実装では、本来上位レイヤーに対して透過的であるはずのサービスで問題が起こることもあったが、完全に透過的になった。
- ・ ServerCore
 - ・ コマンドプロンプトのみのサーバ構成が可能
 - ・ ファイルサーバー等、いくつかのパターン
 - ・ 不要なサービスはロックダウンではなく、インストールさえされないため、パッチ適用数も削減される (60%)
- ・ フェイルオーバークラスタ

Web

RIA(RichInteractiveApplication)

- ・ IIS7.0
 - ・ Apache から簡単に移行できるようになっている
 - ・ 国内に数十万人の開発者をもつ PHP が動作する

仮想化

Microsoft は、サーバー仮想化だけではなく、包括的に仮想化を推進する戦略をとる

1. サーバ
2. アプリケーション
3. デスクトップ
4. プレゼンテーション
5. プロファイル

- ・ SystemCenter
 - ・ 非 MS の仮想化環境も管理
- ・ Hyper-V
 - ・ SuperVisor 型の仮想化環境
 - ・ Virtual Server 2005 R2 と比較し、倍以上の速度
- ・ RemoteApp
 - ・ TS ゲートウェイ アプリケーションのみターミナルサービスを SSL を経由して実行 (VPN 不要)
 - ・ 社内サービスを別途ウェブ化する必要がなくなる

セキュリティ

- ・ 読み取り専用ドメインコントローラ

- ・ 乗っ取りさせない
- ・ NAP(NetworkAccessProtection)
 - ・ 管理ポリシーを常時監視
 - ・ ポリシー違反の PC を境界ゾーンや、検疫ゾーンに
 - ・ ActiveDirecotry をベースとする。
 - ・ 詳細な検疫ルール開発用に SDK が提供されている (C 言語にて開発可能)